

-----8月05日-----

※ 今週のアウトルック (8/5~8/9)

先週は米雇用者数の伸びが市場予想を下回り、緩和継続との見方からNYダウの上昇は継続しています。

ただ、リスクオン→円安という図式に単純にはならず、米国雇用統計発表後は円高が進む結果となりました。

今週も為替の動きはどちらへも動きづらい状況となりそうです。

ドル円は先週、98円付近でのみみ合いが続いたあと、木曜日から金曜日の米国雇用統計発表前までは、一度100円付近まで上昇しましたが、発表後は円高が進み、99円付近で週末を迎えています。

今週は、新たな材料が出にくいことから、みみ合いが続くのではないかと予想しています。

ドル円の予想レンジは97円から100円です。

ユーロは、ユーロドルが下落トレンドに変わることなく、狭いレンジでの動きが継続しています。

米国雇用統計発表後、ユーロの買い戻しが進んだことから、今週も大きな動きとなるには材料不足となりそうです。

ユーロ円も狭いレンジ内での方向感の掴みづらい動きとなりそうです。

ユーロ円の予想レンジは129円から132円です。

ポンド円は、149円付近をサポートラインとして折り返しています。今後はしばらくの間、149円から153円付近のレンジ相場となる可能性が、高くなったように思います。

ポンド円の予想レンジは149円から153円です。

今週は方向感を掴みづらい、狭いレンジでの動きとなりそうですが、夏休みで参加者が非常に少ない時間帯を狙った、突発的な動きには、十分な注意が必要です。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。